

1 会長挨拶

2 校長挨拶

3 第2回授業アンケート結果【教頭より】(別紙)

- ・12月に実施。
- ・4段階で評価。全体平均1回目、2回目ともに3.33。1回目とほぼ同じ88.5%の生徒が肯定的な回答。満足度という形で集計。
- ・1回目との比較では、
 - 1「授業内容について、必要な予習は復習ができている」が若干アップ、
 - 2「授業中は集中して先生の話聞き、学習に取り組んでいる」が若干ダウン。2学期は文化祭、修学旅行等の楽しい行事もあり、少し集中力が下がっていたのかもしれない。
- ・中には生徒の評価が低い教員も何人かいるが、実際のところは講師不足がかなり影響している。評価の低い教員には教頭から改善点などのフィードバックを行っている。その結果1回目よりも2回目は改善している教員もいる。
- ・ベテラン教員は、1回目と2回目でポイントの変化があまりない人が多い。
→中学校は非常勤講師の数がかなり少ない。
→会社にも教員免許を持っている人は複数いるが、教員にはなっていない。教員免許を持っていても教員にならない人がいるということは学校教育現場の課題ではないか。
→以前から養護教員も足りていない。

4 令和5年度「学校教育自己診断」結果【首席より】(別紙)

- ・前回確認していただいた項目で実施。
- ・グーグルフォームで実施。回答率は、生徒94%、保護者20%、教員100%。
- ・ほとんどの項目で昨年度よりも肯定的な回答が増えている。
- ・生徒用7「教え方に工夫をしている先生が多く、授業はわかりやすい」が0.2%ダウン。
- ・生徒用18「クラスやクラブは一人ひとりが尊重され、気軽に話せるような集団である」が0.2%ダウン。
- ・保護者用は5項目でダウン。それ以外はアップしている。
 - 2「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」2%ダウン、
 - 4「コースや授業は生徒の将来に役立つと思う」0.5%ダウン、
 - 5「授業はわかりやすく、内容に満足していると子どもから聞いている」7%ダウン
 - 6「学校は放課後や長期休業中の補習・講習を十分に行っている」5.3%ダウン、
 - 26「学校のホームページをよく見る」2.9%ダウン。
- ・教員用25、「担任は家庭への連絡をきめ細かく行っている」が100%。体調面だけでなく、学校での様子、友人関係などを家庭連絡している。
- ・クラスルームでの欠席連絡は、業務の削減につながっている。

- ・ 8～17 時以外は電話がつながらないシステムになっている。
- 中学校は 7：45～19：00 は電話がつながる。中学生は高校生よりも幼いので保護者との連絡は大切にしている。
- 保護者としては、担任の先生と接する機会が減ってきている。1 年に 1 回 20 分だけの懇談では足りないように感じる。

5 令和 5 年度 学校評価、令和 6 年度 学校経営計画【校長より】(別紙)

- ・ 数値アップの要因はコロナが明けたこともある。
- ・ 令和 6 年度学校経営計画の「めざす学校像」に「豊かな心と健やかな体を育成するため、生徒の生命・身体を守る取組みに努め、生徒の安心・安全を確保する学校」を追加。
- ・ 「家庭での学習時間を確保している」のアップを達成したい。
- 中学生の家庭学習の定着もなかなか難しい。

6 本校の教育活動の総括【3 学年および 4 分掌長より】(別紙)

・ 1 年生

(1)社会で活躍できる人になる

- ・ 遅刻ゼロ週間を実施し、遅刻回数「年間 200 回以下」を目標としていたが、達成できなかった。手ごたえが感じているので、ぜひ来年度は達成したい。

(2)確かな学力

- ・ 「総合的な探究の時間」を学期ごとに点数化し、意欲的に取り組ませることができた。
- ・ スタディサプリを成績評価のためだけでなく、自学自習の手助けとなるようにし、効果を 3 年次の進路で発揮できるようにしていきたい。

(3)個々の進路の方向性に沿った、確かな分離選択とコース選択

- ・ 16 期生のコース選択では、人文探究コース選択者が 12 名だけとなり、例年と比較して少ない人数となった。逆に理系選択者が多く、年度によってばらつきがある。学校としての方針が必要だと思う。

→コースの人数の決め方はどうしているのか。

A.生徒の希望で決めている。

- ・ スタディサプリについては、合格者説明会で説明している。年間費用も個人で加入するより安価であり、保護者からの不満はでていない。

・ 2 年生

(1)ふさわしい生活習慣に根ざした、他人を認め助け合い高め合う集団づくり

- ・ 遅刻が 1 年生より多く、何か特別な取り組みが必要と考えている。

(2)修学旅行を通じて、自然環境・文化・平和について学ぶ

- ・ 修学旅行では数名がインフルエンザを発症するなどして、参加できない生徒もいた。
- ・ 学年レクレーションでは全員参加のクラス発表が大変盛り上がった。司会や進行も生徒が中心となって行った。
- ・ 来年度は最高学年としてリーダーシップを各行事で発揮できるように、生徒の自主的は活動を支援していきたい。

(3)基礎学力のさらなる充実とともに、発展的学力の充実を目指し、進路の可能性を広げつつ、進路目標を定める。

- ・スタディサプリを3年生でも継続するかは未定だが、15期としては継続を希望している。

・3年生

(1)他人を認め、助け合い高め合う集団づくり

- ・231名で3年生をスタート、231名全員が卒業できそうである。
- ・進路決定後の欠席が多い。

(2)学校行事に積極的に参加し、学校生活を充実させながら進路実現に向けての発展的な学習に取り組む

- ・体育祭、文化祭等、充実した学校行事を実施できた。

(3)個々の進路実現に向けて、高い志を持ち最後まで諦めずに努力する

- ・しっかりとした進路目標を持たせることが難しいように感じる。大学に進学する目的を持っていない生徒が多い。行きたい大学ではなく、行ける大学に行く流れがある。せっかく学力があるのにもったいない、もっと努力したらいいのと思う。
 - ・特に深い考えを持たずに指定校推薦で大学に入学した生徒の中退率を知りたい。あまり考えずに進学した生徒がどのような結果になっているのかを生徒に伝え、自己の進路についてしっかりと考えさせるきっかけにしたい。
- 中退率を高校に伝えることについては、ご意見として大学に持ち帰りたい。
- 中学校では、私立高校の専願での受験数が増加している。公立高校よりも早く合格が決定するため、合格後は勉強しなくなる。その結果、高校に入学するまでに学力が低下するということがよくある。
- 大阪の高校生の就職率は全体の10%ぐらいである。会社で求人を出しても、なかなか応募者がいない。

・教務企画部

(1)早期連絡と提出期限の徹底と内容の正確さ

- ・すべてにおいてミスがないように（特に新カリの成績）。

(2)専門コース設置校としての内容の充実

- ・16期生1年生のコース選択、例年と比較して人文探究専門コースを希望した生徒が少なく、授業時数にひずみが出そうである。一般理系とこども保育専門コースは増加。こども保育専門コースは次年度からは20人定員である。
 - ・来年度は新教育課程の3年目になる。組み換えの必要性などの検討をしていきたい。
- 中学校では観点別評価を導入してかなり長いですが、ミスのないように確認する時間が非常にかかっている。

(3)中学校への広報活動

- ・学校説明会の参加人数は目標を達成することができなかった。次年度は実施時期等を含め、検討していきたい。

・生徒指導部

(1)遅刻指導の強化

- ・今年度からは朝のメロディーチャイムを無くして、昼休みに流すようにした。次年度も継続予定である。遅刻数は下げ止まりとなっているが、ここ数年で大幅に減少していたこともあり、悪い傾向ではないとも感じている。

(2)部活動の活性化

- ・昨年度の入部加入率には届かなかったが、担任の声掛けと部活動体験の効果もあり、例年並みの加入率は維持できている。

(3)その他、自転車の事故について

- ・登下校中の自損事故が多い。

・進路指導部

(1)自学自習の習慣の確立

- ・自学自習の習慣づけが必要である。明確な目標を持たせるために進路指導部からもアプローチや意識づけをしている。

(2)自ら考え、進路決定するための指導・支援

- ・全国的に早く進学先を決めたい人が多いが、今年度の3年生には当てはまらないように感じる。
- ・駅から近い大学の志願者が増加しており、本校生徒の場合は、自宅から自転車で通える大学が人気である。
- ・少子化の影響が大きく、大学入学への難易度が非常に大きく変化している。大学選択の指標を難易度だけで考えるのではなく、自分の興味や将来に向けてどんな力を身につけたいかというのを今まで以上に考える必要がある。
- ・専門学校には毎年約70人進学している。
→専門学校に毎年約70人も進学していることに驚いている。
→短期大学の運営は今、とても厳しい状況である。

(3)進路指導部・学年・教科が協働して生徒の能力を引き出し、進路実現を図る。

- ・進学に伴う費用の準備を早い時期からしていかなければいけないことを生徒、保護者ともにしっかりと理解してもらう必要がある。
- ・次年度は、日本学生支援機構奨学金申し込み方法の変更を検討している。

・保健部

(1)基本的生活習慣の改善・定着を図る。

- ・朝食を取らない生徒もいる。前回調査をしてから5～6年経過しているので、次年度は調査を実施することを検討している。
- ・インフルエンザが流行し、欠席者も多数出た。

(2)学校保健活動を展開する中で、生徒の健康教育・防災教育の推進を図る。

- ・2次避難所になる可能性があり、防災学習が必要である。(特に地震が起きた時の対処法、地震後の生活の仕方など)
- ・10月の避難訓練では7分台で点呼完了まで行うことができた。
- ・技師の方が丁寧に清掃してくださり、学校がきれいな状態で保たれている。

→施設の改修等はどうなっているか？

- ・耐震補強は完了している。
- ・トイレの洋式化は50%完了している。湿式よりも乾式トイレの方が好まれる。
- ・プロジェクター等はかなり充実している。様々な予算を活用して少しずつ改良している。

→PTAで協力できることがあれば、言っていただきたい。

7 その他、意見や質問

→「家庭学習の定着」と、「大学等の進学目的をしっかりと持つ」ということが本日出た課題だと感じている。

8 次年度の日程予定

- | | | |
|-----|--------------|-------------|
| 第1回 | 令和6年6月20日(木) | 14:00~15:30 |
| 第2回 | 令和6年10月7日(月) | 11:00~12:30 |
| 第3回 | 令和7年2月3日(月) | 11:00~12:30 |

以上